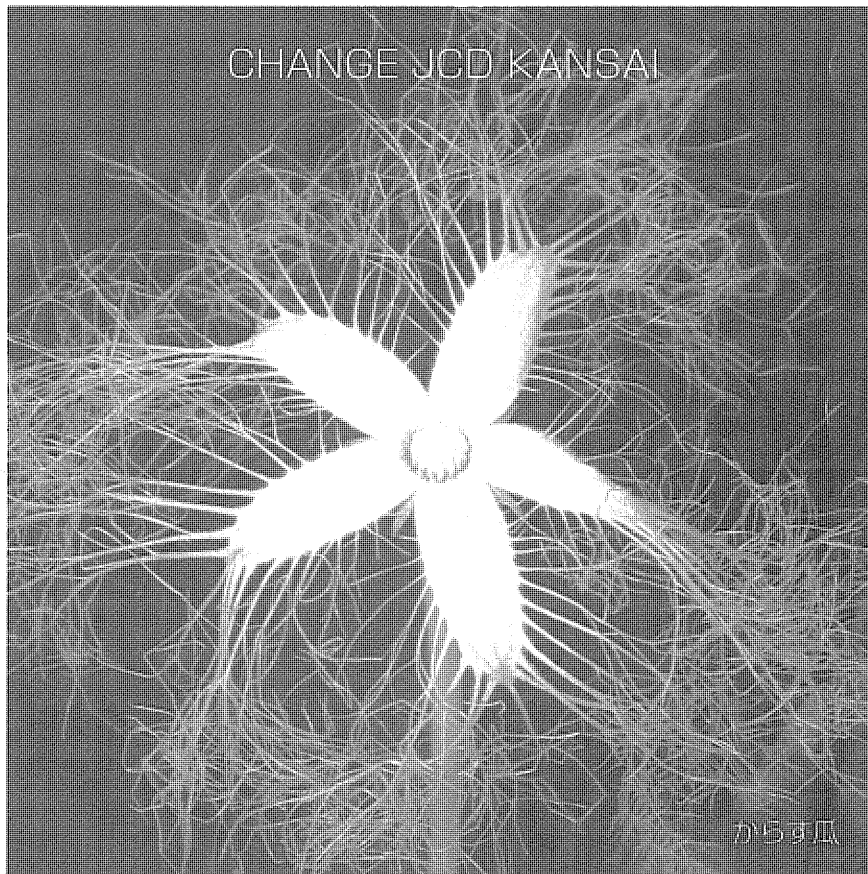


JCD

Kansai

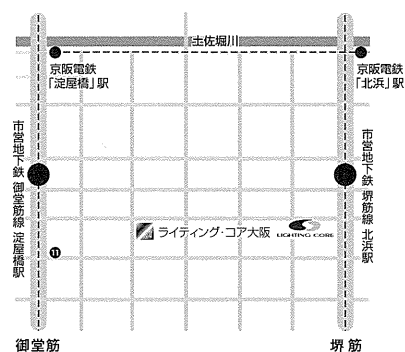
2005.9.Vol.58



こだわるなら、DAIKOの「あかり」



LIGHTING CORE OSAKA NEW OPEN



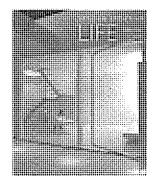
ライティングコア大阪
Tel. (06) 6222-6224 Fax. (06) 6222-6229
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル



DAIKOの
照明総合カタログ



商業施設用照明総合カタログ
D's PROFESSIONAL
LIGHTING



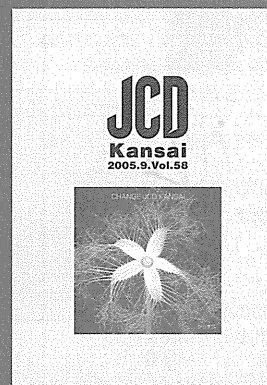
住宅用照明総合カタログ
Stylish Lighting LIFE
2005-2006



Tel. (06) 6222-6250 Fax. (06) 6222-6252
http://www.lighting-daiko.co.jp

JCD Kansai 2005.9 Vol.58

[表紙・デザイン]
AUTUMN
ピー・イー・テクノロジー(株)
三宅雅夫



関西支部長を中心に各委員会が
アンテナをはり先端情報を選別、強
い組織力による変革をイメージした。

2005年(平成17年)9月号
vol.58 平成17年9月発行
発行/社団法人 日本商環境設計家協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会
指導相談役/郷力憲治
委員長/三原穂積
副委員長/久保 茂 友田みのり
岡島 昇 寺井 義和
委 員/原川公一 一色 勝美
権藤 旭 佐藤 史仁
桜井敬三 藤谷 明正
山田常寿 三宅 雅夫
平岡孝啓 長町 志穂
日又忠文 高木茂四郎
印刷/あいであプリンティング株式会社

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部
JCD KANSAI 2005年9月 第58号

04 ● 特集
JCD Kansai 機関誌のあゆみ

06 ● REPORT
(社)日本商環境設計家協会 関西支部名簿
関西支部正会員
関西支部賛助会員

10 ● 特集
JCDデザイン賞2005
JCDデザイン賞2005公開審査を振り返って
JCDデザイン賞受賞作品紹介
変換を求められる? JCDデザイン賞 ————— 里吉 明
関西からの受賞者紹介

12 ● 特別連載企画
「これで商店街は蘇るか?」今里新橋通り商店街PART-4

14 ● 研究委員会報告
第3回小セミナー
「ガンバ大阪の集客戦略」————— 伊藤 慎次

15 ● ヴィジョン委員会報告
第95・96回コアトーク in OSAKA ————— 末浪 伸浩

16 ● 連載
WORKING NOW
新入会員紹介 ————— 青野 恵太・今福 彰俊
梶原 久史・瓦野 光貴
小西 宏親・日又 忠史

18 ● 連載
endress marathon communication
酒と肴 そして… ————— 里吉 明

19 ● 報告
JCD関西支部活動報告
関西支部総会 ————— 市川 邦治
新規賛助会員紹介
JCDビアパーティ
新緑のるるぶ会
四国化成工業(株)
大森 貴夫
金沢 明彦

JCD Kansai 機関誌のあゆみ

1960 S35	S36	S37	S38	S39	1965 S40	S41	S42	S43	S44	1970 S45	S46	S47	S48	S49	1975 S50	S51	S52	S53	S54	1980 S55	S56	S57	1983 S58
●S36「日本店舗設計家協会」設立 ●S36 会報(月報)第1回発行 ●S37 第1回「総会」開催 ●S35「世界デザイン会議」開催 ●S35 大阪デザインハウス開設(ODC)												●S47 機関誌「商業空間」発刊 ●S46 創立10周年事業「デザインコンペ」「デザイン会議」 ●S48 公募第1回「商業空間デザイン賞」設定 ●S49「現代の商業空間デザイン」編集発刊 ●S51 第1回「商空間シンポジウム」(石川県) ●S52 第2回「77商空間シンポジウム」(箱根) ●S53 第3回「78商空間シンポジウム」(京都) ●S54 第4回「79商空間シンポジウム」(静岡) ●S55 第5回「80商空間シンポジウム」(大阪)											
●S38 JCD社団法人認可 ●S39「日本店舗設計家協会賞」発足												●S43 第1回会員シンポジウム開催 ●S46 第1回「JAPAN SHOP」開催 ●S47 大阪JCDルーム開設 ●S50 協同組合「大阪デザイン・オフィスユニオン」結成											
●S58 機構改革6支部制 ●S56 創立20周年全国大会(奈良) ●正会員数 589名 賛助会員 99社 ●S55「年鑑日本の商空間デザイン」創刊 ●S57「年鑑日本の商空間デザイン」												●S58 第1回「商環境会議'83TOKYO」											

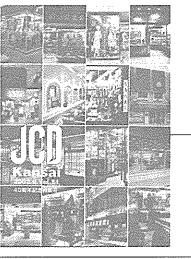
1984 S59	S60	S61	S62	S63	1989 S64	H1	H2	H3	H4	H5	H6	1995 H7	H8	H9	2000 H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	2005 H17	
●S60「日本環境設計家協会」に改名 ●S61「日本環境設計家協会」に改称 ●S61 正会員数 692名 賛助会員 86社 ●S60 総会(韓国・慶州) ●S63 総会(伊豆) ●S60 KOSIDとの国際シンポジウム(韓国・慶州) ●S62 第1回「日韓台アジア3国会議」(大阪) ●S63 第2回「日韓台アジア3国会議」(ソウル) ●H1 第4回「日韓台アジア3国会議」(東京)												●H2 30周年記念行事「商環境会議'90北海道」 ●H3 総会(大阪) ●H4 総会(福岡) ●H5 総会(広島) ●H6 総会(金沢) ●H7 商環境デザイン賞から「JCDデザイン賞」改名 ●H7 総会(東京) ●H8 調整年度総会(神戸) ●H9 ホームページ開設 ●H10 総会(東京) ●H11 総会(高松) ●H12 総会(東京) ●H12/01 JCD東北支部誕生 ●H13 総会(東京) ●H14 創立40周年 ●H15 総会(東京) ●H16 総会(東京) ●H17 総会(札幌)											
●S62 第1回「日韓台アジア3国会議」(台北) ●S63 第2回「日韓台アジア3国会議」(ソウル) ●H1 第4回「日韓台アジア3国会議」(東京)												●H8 「APSDA '96福岡」 ●H10/05 「第1回JCD&DAIKOコア・トーク」 ●H11 総会(高松) ●H12 総会(東京) ●H13 総会(東京) ●H14 40周年記念特集号(51号) ●H14 01 JCD関西事務局移転(財)大阪デザインセンター内 ●H14/12 関西デザイン3団体JCD+JID+JIDA協同セミナー											
●S59 支部長 大菅満義氏 情報委員長 太田眞昭氏												●H16 現支部長 白井 進氏 ●H16 「ヴィジョン委員会」新設 ●H16 第1回研究委員会小セミナー発足											



大菅満義氏



山田悦央氏



白井進氏

●S59/7 機関誌「JCD kansai」第1号発刊
阪神高速道路建設で水都大阪の川埋め立てを警鐘する記事
●S59/9 「JCD都市商環境デザイン会議'84OSAKA」第2号記事

●S60/04 関西支部集会(奈良百楽荘40名参加)第5号記事
●S60/09 JCD談話室(組織委員会企画)第6号記事
●S60/12 「商環境フォーラム」関西支部主催 第7号記事
●S60/12 「生活遊園地つかしん」尼崎塚口 第7号記事

●S61/04 関西支部集会(京都岡崎六盛西店50名参加)第8号記事
●S61/08 第3回JCD談話室 第9号記事
●S61/11 「関西商環境計画実践セミナー」(山西記念福祉会館)研究開発委員会 第10号記事

●S62/03 第1回「日韓台アジア3国会議」報告第11号記事
●S62/08 「JCD環太平洋商環境フォーラム」(ハワイ26名参加)報告第12号記事
●S62/11 「DESIGNALE '87」(インテックス大阪)報告第12号記事

●S63/03 「第27回通常総会」(伊豆下田)報告第14号記事
●S63/05 関西支部集会(4/23奈良あやめ池)第15号記事
●S63/08 第2回「日韓台アジア3国会議」報告(6/18ソウル)第16号記事
●S63/11 「JCD都市商環境デザイン会議'88名古屋」第17号記事

●H1/02 「第28回通常総会」(丸亀市)報告第18号記事
●H1/06 景観照明(大丸/御堂筋/姫路城大阪市庁舎)第19号記事
●H1/11 「JCD商環境セミナー'89大阪」(マイドーム大阪)報告第20号記事
講師:郷力憲治/友田みのり/今西茂雄各氏

●H2/02 「第27回通常総会」(名古屋ヒルトン)報告第21号記事
●H2/07 関西支部集会(4/7京都錦水亭)報告第22号記事
「花と緑の博覧会」大阪花博ウォッチング第22号記事
●H2/10 大阪ウォーターフロント(天保山)報告第23号記事
「JCD都市商環境デザイン会議'90北海道」第23号記事
●H2/12 第4回「日韓台アジア3国会議」(東京)報告第24号記事

●H3/03 「第30回通常総会」(大阪)報告第25号記事
「絵画を楽しむ会」発足 大菅/要/太田/岡各氏
●H3/06 関西支部集会(4/20京都紫野一久)第26号記事
●H3/12 創立30周年記念式典
記念講演会・「APSDA '91ソウル」報告
USD-O/JDF10周年記念デザインナール'91(OBP)報告記事

●H4/04 「第28回通常総会」(福岡)第29号記事
●「JCD KANSAI NEWS」1992/06Vol.1~1994/01Vol.9発行
●H4/09 第30号発刊A4版 記事刷新
情報委員長 里吉 明氏
研究開発委員長 神戸一生活氏
組織委員長 南原利廣氏
随想/WorldReport/論文/こだわり/趣味/会員紹介/企業紹介スタート(株式会社キノシタ)

●H5/03 第31号
「第32回通常総会」(広島)報告記事
企業紹介(ニッポ電機株式会社)
●H5/09 第32号
JCD活動の活性化(魅力あるJCD活動とは)記事
論文:古画(巻物/屏風etc.)に観る商環境・連載その3 小宮容一氏



第1号(B5版)



第12号(B5版)

●H6/06 第33号
情報委員長 原川公一氏
組織委員長 白井 進氏
研究開発委員長 神戸一生活氏
(新設)特別委員会 里吉 明氏
アジア太平洋トレードセンター誕生記事
企業紹介(東芝ライテック株式会社)
(ポテニソニック株式会社)

●H6/10 第34号
関西空港(9/4)開港記事
JCDを変えよう 特別委員会中間報告
「SECTION9」(北海道)「環境と時代性」報告記事
企業紹介(マックスレイ株式会社)
(株式会社フォルム)

●H7/03 第35号
●H8/10 第39号

●H9/03 第40号
●H9/10 第42号

●H12/02 第47号
「岸和田Bayside Mall」レポート/TMO勉強会スタート記事
海外レポート「LONDON」足立和夫氏
事業年度変更の決定記事
阪神淡路大震災お見舞いの記事
企業紹介(株式会社フジカ)
(株式会社日本テック)

●H12/10 第48号
2000関西支部集会(西心斎橋アフリカ)報告記事
「PLATS近鉄」(京都)記事
2000.10.5~8「APSDA2000BALI」報告

●H13/04 第49号
●H13/09 第50号
「花のみち1・2番館」(宝塚)レポート/特集JCD関西のルーツを探る
海外レポート「ミラノに住む」丸山貴央氏/JCDデザイン賞2001記事
研究発表「商環境とまちづくり」内田 功氏

●H14/06 第51号「40周年記念特集号」発刊にあたって
座談会「商環境の回顧と展望」・商環境の展望 原川公一氏
海外レポート「北京・上海」友田みのり氏/年表・商環境の歩み
日本の空間デザイン展2001(ATC)報告記事

●H14/11 第52号
「千里中華街」レポート/海外レポート「中国」吉羽敏郎氏
エコロジカルな商環境の発掘/JCDデザイン賞2002記事
るるぶ会誌上スケッチ展(熊野路)

●H15/04 第53号
NEW商環境 阪急ダイニングステージ(梅田)
ダイニングサロン「弘得社」(北浜・新井ビル)
海外レポート「米国流通事情」西田拓司氏
Working Now(前田/市川/大森/神戸各氏)
「まち歩き・トレンド探し」(阪急岡本)(名古屋大須)
日本の空間デザイン展2002(ATC)報告記事

●H15/09 第54号
NEW商環境 姫路市街地「ひろめ市場」
海外レポート「パリ〜マルセイユ」足立和夫氏
Working Now(末浪/亀井/平井/権藤各氏)
おいしい/好店(元山/原川/前田/草木各氏)/JCDデザイン賞2003記事
「まち歩き・トレンド探し」南堀江/北堀江・京都/錦市場
研究発表「商環境とエコデザイン」前田泰弘氏
「中心市街地の大型閉鎖店対策への取組み」出口幸氏
2003関西支部総会(中之島公会堂)報告記事

●H16/03 第55号
NEW商環境 複合緑化都市「なんばパークス」
海外レポート「上海クライアント」森田清隆氏
Working Now(長尾/稲垣/塚田各氏)
「これで商店街は蘇るか?」今里新橋通り商店街
PART1(苦楽園口界限)(布施)
「まち歩き・トレンド探し」神戸一生活氏
研究発表「JCD会員にとってのTMO」
JCD/DAIKO「コア・トーク83回/86回」記事

●H16/09 第56号
広報委員長 三嶽(前田)穂積氏
JCD関西支部 平成16年度活動方針
新支部長挨拶/支部組織図/会員名簿掲載
JCDデザイン賞2004記事
「これで商店街は蘇るか?」PART2
「ヴィジョン委員会とは?」委員長 末浪伸浩氏
JCDデザイン賞2004記事
研究委員会小セミナー報告記事

●H17/03 第57号
商環境2004 ハーベストヒルトンプラザエイト
「これで商店街は蘇るか?」PART3
「これからのヴィジョン委員会」
Endless Marathon Communication記事
Working Now(新入会員/賛助会員紹介)
「特別企画3団体合同チャリティー総展」記事

JCDデザイン賞2005

JCDデザイン賞2005 公開審査を振り返って

JCDデザイン賞委員会

「JCDデザイン賞2005」は6月21日(水)、東京五反田の東京デザインセンターにて、午前中に1次・2次審査、午後から公開審査が行われました。

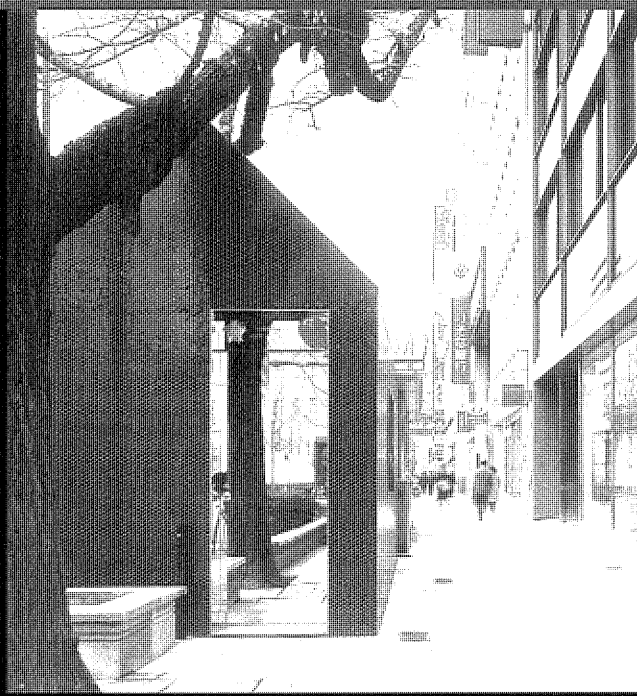
今回の特別審査員には建築家のクライン・ダイサム・アーキテクトを迎え、昨年同様に杉本理事、飯島理事長兼デザイン賞委員長、近藤康男会員、橋爪晋也氏、青木淳氏の審査員による厳正な審査が行われました。

審査冒頭に飯島デザイン賞委員長より、「今年の作品は全体的にレベルが高く、昨年に比べ少し趣に変化が見られた」との言葉があり、公開審査がスタートしました。

今回で公開審査は4回目を迎えるが、審査途中で厳しい意見が出るなど白熱した議論も見られ、公開審査ならではの緊張感が伺えました。

大賞選出については8作品が選ばれ、審査員の意見が分かれていましたが、最終的には「大阪府南警察署難波3丁目交通警察官詰所」が過半数の票を集め、大賞を受賞しました。

大賞



大阪府南警察署難波3丁目交通警察詰所 米正太郎

クライン・ダイサム賞

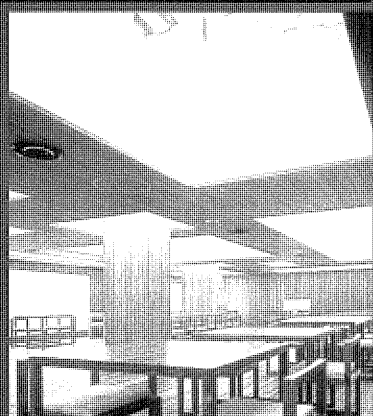


karaoke-tub 佐藤オオキ、伊藤義隆

新人賞



サンテ 佐藤 大、石川崇之



亀や 竜宮城 吉村靖孝

優秀賞



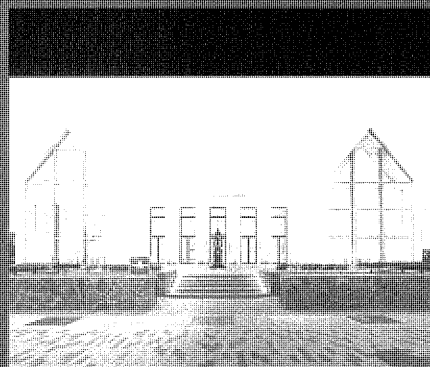
北京フェリシモ 迫 慶一郎、中村誠宏



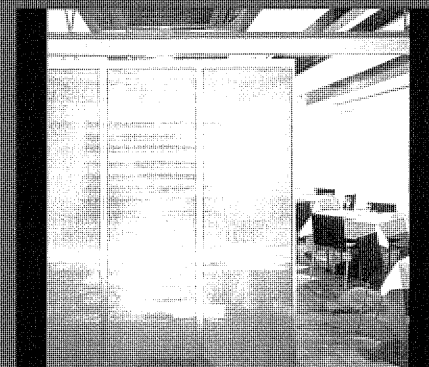
回転体 鈴野浩一、禿真哉



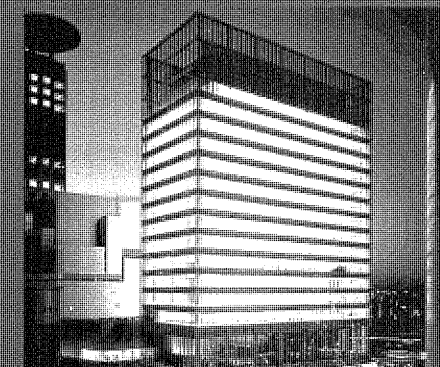
JUB de COEUR 米谷ひろし



メゾン アンリ・シャルバンティエ 上妻 玲



銀座カンセイ 堀池秀人



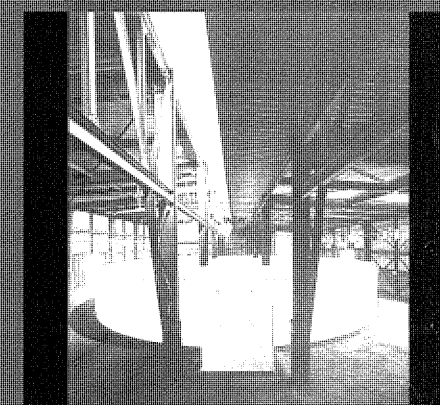
THE HILTON PLAZA WEST 原田哲夫



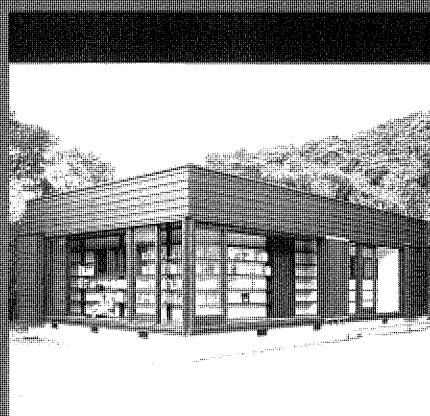
テーブルオンザ ルーフ 鈴野浩一、禿真哉



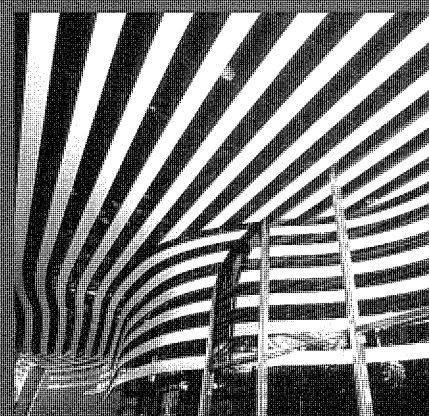
TheMAZE 松畑 強



大阪現代演劇祭仮設劇場 五十嵐 淳



絵本の家 nendo



c-MA3 田島則行、松葉 力



Service&Amusement Young Woon-Choi

JCD DESIGN

AWARD

2005

変換を求められる? JCDデザイン賞

デザイン賞委員会委員 里吉 明

今年度のデザイン賞の選定結果については審査員達のコメントにまかせるとして、本部デザイン賞委員会の委員としていくつかコメントしておきたい。ここ2、3年のJCDデザイン賞をみてきて、そろそろ変換期かな?とおもえるのである。それは選考結果のそれぞれへの優劣についてではなく、全体像としての疑問である。

◆JCDデザイン賞としてのDOMAIN=

範囲をどこまでとするのか

「商」という冠がついた協会の賞としての認知をどこまでとするのか?「DESIGN」ということで拡大解釈をしてゆくのは、ますます視点のぼけたわかりにくい賞になっていっていないか?これはまさに協会の未来像とリンクしている。どこに位置づけるのか?

◆カテゴリーゼーション、審査基準、範囲の不明快さ

カテゴリーによる分類の無理さやそれぞれの審査は審査員の観点によるのは当然だが、協会主催としての共通軸がみえにくい。入選された作品のなかでの比較、落選したものと差とか、例えば二者択一となった場合、比較しようのないものが対象となったり...それは応募の意図や協会としてのベネフィットな基礎がはっきり伝わっていないからではないだろうか?

商業の形態が複雑になってきているのなら、むしろもっと明快にわかりやすいほうがいい。単に経済の長期の疲弊化の起因による、ある面の均一化や逆に無理やりの逆説ではない。

◆写真審査の限界と

新しい審査システムの検討の時期か?

えてしてフォトジェニック賞といわれる非難のもとや1日のわずかな時間での審査の困難さ等。「公開審査」という他にないスタイルで評価をうけているのなら、このデジタル時代他に先駆けて新しい審査システムを検討してもいい時期にあるとおもう。

◆“内輪の賞”から“開かれた賞”へ

この種の賞はどれも特定の職能をもった人たちでの内輪の賞であるのが当たり前になっているが、商環境というごく日常性をもった団体の賞としてもっと一般社会への訴求をしなくては、とおもうのです。

◆新しいデザイン賞の検討

1年という期間限定の中だけでつくられたものだけでなく、永く存在することで評価されるべきものも多くあります。また、VISUAL面だけでなく、環境への提案や考察や調査など過去、現在、未来への各種の考察や提言が大事な時、VISUAL,UNVISUALを含め新しいデザイン賞をたちあげる時期にきているとおもうのです。

つまり協会としてのJCDデザイン賞の意義と成果をもう一度再考し発展させてゆくべきだと考えています。

そんなこんなで、ことしも公開審査に参加しましたが、応募要項のツールの内容をみても、いま一つ力強くないと感ずるのは私だけでしょうか?協会の現状を正に反映しているのです。

反省、反省...そして新たな挑戦!!!!

■選考点数一覧表

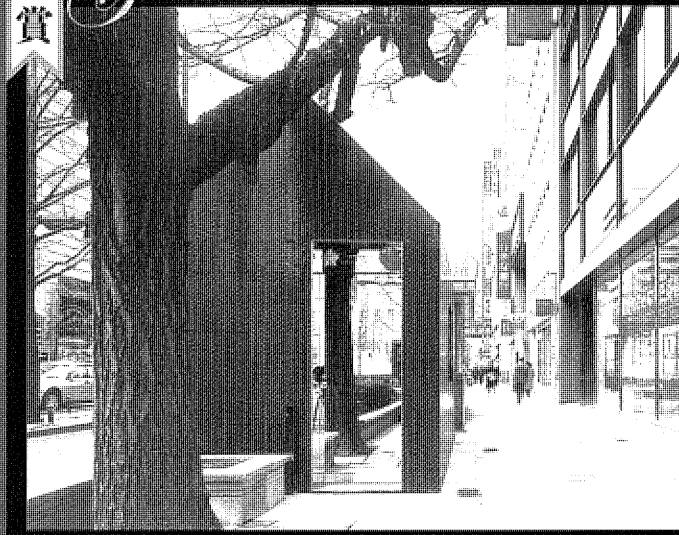
	応募総数			入選点数	入賞点数
	国内	海外	計		
1: 物販店舗	76	5	81	10	11
2: 飲食店舗	93	8	101	13	8
3: 大規模店舗	18	1	19	3	2
4: サービス・ミュージアム	61	1	62	9	7
5: 文化・公共施設	54	9	63	10	8
6: その他	14	3	17	1	3
合計	316	27	343	46	39

■入賞の内訳

大賞	クライン・ダイアム賞	優秀賞	新人賞	奨励賞
		3		8
		2	2	4
		1		1
		2		5
1		3		4
	1	1		1
0	0	12	2	23

大賞

Grand prize



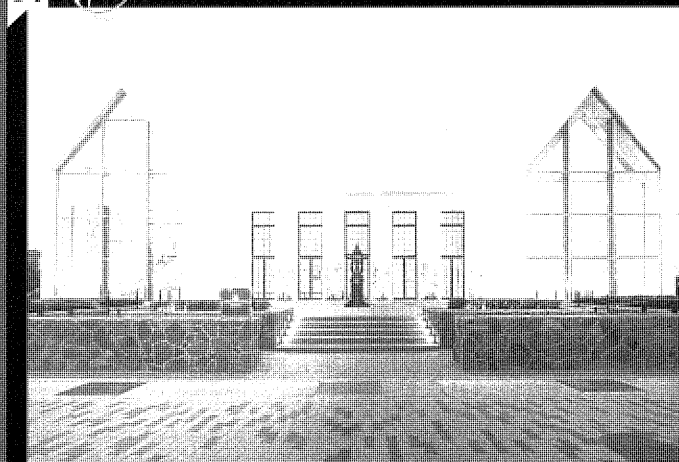
大阪府南警察署新設3丁目交番警察詰所 米正 太郎

切妻屋根、壁、窓、アンテナという意味への「分節」が不可避な家型でありながら、全表面を黒モザイクタイルで被覆することで「一体性」を表現すること。にもかかわらず、玄関扉の鏡面ステンレスが歩道と街路樹のパスペクティブを映像し、その一体的な「ヴォリューム」を一気に圧縮させること。近接するとタイルが自ら「貼物」であることを告白し、一方で遠隔からはタイル/目地の階層が視覚的に消去され再び「一体性」として現象する。あるいは壁/窓という意味「分節」を回避すべく開口比率を数列に従属させ、さらに歩道側の「窓」をステンレス板によって封じることで車道側の窓との、形態上のそして窓という建築的意味における2重の「対称性」をつくりあげる。

最後に、外観において強調された「黒」が、内部においては壁床天井扉家具什器すべて「白」に反転する。このような「衝突」が切り開く「建築」とは...

優秀賞

Excellent prize



メゾン アンリ・シャルパンティエ 上妻 玲

フランス人ジャンフィリップ・ニュエルによってデザインされたメゾン アンリ・シャルパンティエは、古典的オテル・パルティキュリエ(邸宅)をヒントにしつつ、単なる再現や模倣ではなく、大判の白い石、釣鐘のクリスタルシャンデリア、壁天井一面の大きなモチーフなど、大胆なデフォルメでどこかクラシックでありながらコンテンポラリーな表現を試みています。

更にレストランやカフェのない17世紀、こうした「邸宅」でのサロンが社交場だった伝統もこのメゾンには溢れています。

しかし、彼の抽象化されたデザインはあまりにも日本気候には無防備でした。シンプルな外装は屋根さえも塗装で仕上げられ、高い天井までガラスで開放された南面、最後まで拒否し続けた正面入り口の風除室など、常識では考えにくい課題にひとつひとつ解決しこのメゾンは成り立っています。ぜひメゾンのアプローチに立って、彼のピュアーなデザインを感じ取ってください。

優秀賞

Excellent prize



THE HILTON PLAZA WEST 原田 哲夫

商業施設が巨大化するとともに、都市⇄建築⇄SHOPという階層が強固なものとなり、建築(外部・共用部)を演出すればするほど、都市とSHOPが乖離していくということに問題を感じています。巨大化した建築を都市へと開放し、都市とSHOPのインタラクティブな関係を生み出すために、多様な用途を透明ガラスで包み、内部のアクティビティを都市へと透過させ、時とともに移ろう変化に富んだ表情を生み出しました。一方、内部には都市とつながるいくつもの吹抜けを貫入させ、「光と緑」のイメージを商空間全体に拡張し、「ゆったりとした時間と空間を楽しむ」という本来的欲求に応えました。また、床から天井までのSHOPファサードを連続させ、わずかに残る壁や扉もサイン+グラフィックスとして機能させることにより、SHOPの個性を生き生きと表出するとともに、SHOPと建築の階層をなくすことを意図しました。

SHOPと建築・ランドスケープ・グラフィックスが互いに溶かしあうことによって、それらが都市空間の中の風景となることを期待しています。

「これで商店街は蘇るか？」今里新橋通り商店街 PART-4

今里新橋通り商店街の活性化検討シリーズは過去様々な切り口で取り上げられ、これで4度目となる。研究委員会では、この問題に取り組むに当り、いろいろと議論をしたが、「各委員それぞれの立場、視点で活性化のための自由な提言を行おう」と決めた。去る5月9日(月)に現地視察会と意見交換会を実施し、そのときに感じた思いを提言として取りまとめた。したがって、それぞれの提言の内容については全く関連性が無いが、逆に商店街も抱える問題の深刻さと、解決策の多様性と難しさを感じ取っていただきたい。

この商店街の再生は裸の交流から始まる!

神戸 一生

ここまで衰退してしまつと、立派なプランを描いても地権者には開発メリットは小さく、合意形成が難しい。唯一可能性のあるきっかけは、タダの土地が地域発展の為に利用できる事件?が発生した時である。その土地が手に入ったら、地域の核施設として銭湯をNP O法人で整備、運営したらどうか。商店街周辺に結構人口密度が高く、飲食店の立地促進を図る為にも、又、下町のコミュニティの拠点にもなり、銭湯が今里新橋通り商店街の救世主になるだろう。



今里新橋通り商店街活性化のための一案

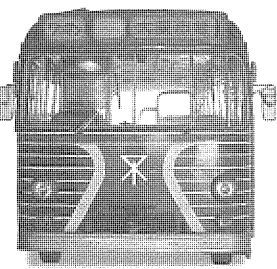
中尾 晋也

日替わり寄席の提案

商店街を歩いてみると飲食店はまだまだ健在。さすが食い倒れの街大阪である。この商店街を歩いていて頭を掠めるのは、幼いころ近所の食堂の「町寄席」。笑いの街大阪、上方落語協会の若手の練習場所も兼ねて、周辺の飲食店で日替わり定食よろしく、「日替わり寄席」を開催してはどうだろう?一杯呑み交わしながら寄席に浸る。「おもろい寄席、肴に一杯どや?」と笑いを求めて人が集うに違いない。

大阪市交通博物館の提案

かつて市電の終着駅であったここ今里。大阪市交通局には往年の市電、トロリーバスやかつてゼブラバスと呼ばれた日野BT II が西島車両管理事務所に密かに隠されているという。産業文化遺産をもっと大切に公開すべきである。幸い隣は東成車庫、整備道具はそろっている。わが国初の公営交通博物館、目玉は動態保存車の一般公開。「おもろいチン電やトロバス、ゼブラまでおで!」と夢を求めて人が集うに違いない。



今里新橋通り商店街活性化下町スロータウン

出口 巴幸

効率性や経済性、合理性から取り残された今里新橋通り商店街。コミュニティの衰退は著しいと予測され、地域活動の困難さや治安の悪化が更に進むのか。今里での今後のまちづくりは、地域の再生や保存、人間関係づくりなど時間をかけて創るという「スロータウン」という発想が必要か。

「スローフード」や「スローライフ」など「スロー○○」という言葉をよく目にする。「スローフード」は1986年イタリアで「ファーストフード」のアンチテーゼとして地域の食文化を守る運動として始まったもの。伝統的な食材や料理、素材を提供する生産者を守り、本物の味を次世代に伝えていく。この考え方をもとに地域振興に活かしていこうというのが「スロータウン」の発想である。地方の市町村での「スロータウン」は、効率や利便性を重視し常に新しいものを追及するシステムと、物事を深く追求し保存・再生を重視するシステムとの共存社会を目指しているといわれている。

今里「下町スロータウン」は、①脱マネジメント=戦略なんて無くていい、②脱マーケティング=やってみないと分からない、③脱プロモーション=それぞれ独自に、④脱テナントミックス=全ての人に解放し好きな商売を、という計画性を排除した発想のまちづくり。一般的なスロータウンと違うが、経済効率性を廃し、現状の在るがままを受け入れ、今里の古くからの町内会的なコミュニティを重視したまちづくりを目指す。

今里新橋通り商店街活性化のための提言

羽原 清明

現状の印象と課題

視察した夕刻6時頃でも人通りが殆どなく、営業中の店舗が非常に少ない。また、シャッターの閉じられたまま既に廃業したと思われる店舗が散見される。その反面、アーケードの通りから横丁に入った路地に面する飲食店、居酒屋のみは営業していて人の気配や活気が感じられる。

商店街を活性化するには、先ずそこに住む人たちが、お店の経営者や後継者たちが何を考えているのか、どうしようとしているのかを、探る必要があると思います。

今回は、商店街の人たちとの接点が無いために、個々の商店や商店街全体の内部要因として派生する問題解決を図るには情報不足であり、今後の情報収集とニーズの抽出に課題が残る。

提言

そこで今回は、結果として商店街に賑わいをもたらすように、商店街に外から人を呼ぶための仕掛けとしてのアイデアを一つ提案します。今里には昔、市電の車庫が在ったことから、現状の映画館跡地のガレージとその周辺を再開発して、「市電ミュージアム」を開設する。単なる過去の市電の展示のみでなく、日常生活にとっての交通問題、次世代に向けての公共輸送の在り方や計画を広く市民に発信する施設とする。

今里新橋通り商店街活性化計画の提言

金沢 明彦

現在、庶民の住宅地の近隣商店街としては、様々な業種店舗が並んでおり、捨てたものではないように思われる。

これからこの街はどう変貌しようとしているのだろうか。現在の地下鉄千日前線に加え、地下鉄8号線が開通すると、街の利便性が上がり、街のポテンシャルも上がると予想される。ターミナルとしてのポテンシャルアップは、そう期待できないが、ターミナルに近い便利なマンション街区になり、人口が増え、その構成は、利便志向のファミリーと高齢者であろう。とすれば、そういう人達への商店街としてのデイリーニーズへの対応とホスピタリティが重要となる。その方向性のなかで、商店街の不足している商業機能補完や快適な商業環境のハードの整備に地道な努力をする必要がある。

商業機能と商業環境の両面からの大きな課題は、空店舗、空地対策である。これは理由がいろいろ複合している。商業者の高齢化による廃業や商売の不振や失敗、商店街の集客力不足等々である。しかしまずは、投資家の投資意欲をかき立てさせ投資をしてもらえなかろうかである。ビルを建てるにも、商売を起すにも、投資がいるわけで、それを喚起するには、個人でなく商店街が組織として活動する必要がある。それも若くて明日があり、地域に愛着と愛情を持ったエネルギーのある人々が必要である。土地が近隣商業地区で、高度利用できるならば、低層部を商業、中高層住宅と複合化し、そのためにアーケードが不要ならば、取り払う勇気が必要かもしれない。昔から「類は友を呼ぶ」という諺があるが、何か小さな一歩が街を商店街を大きく変貌させることがある。



今里新橋通り商店街活性化

小宮 容一

5月9日夕方現地を視察した。寂れた商店街の前評判であったが、それほど思わなかった。仕事上もっとひどい商店街の経験はある。シャッターの降りている店の方が多かったが、それなりに個店舗として成り立っている店もあるように見受けられた。中華居酒屋、酒屋、豆腐屋、古本屋、花屋等である。

それはそれとして、新橋通り商店街はその成立から、駅前商店街であったと云う。大阪の市電の終着・始発駅として離合・集散する人々の大阪を代表する商店街であった。しかし、今日はその機能はもうない。地下鉄千日前線の今里駅は単なる通過駅である。商店街の「街」は、一義に「大通り」「まちすじ」を意味するが、今、新橋通り商店街が一本線型であることに意味を持ってないと思えるべきである。これが活性化の一つの視点である。今一つは、顧客数の確保である。視察前の想像では周辺の住環境を心配していたが、現地はマンションが立ち並び、建設中の物もあり、居住意欲のある街と見えた。

そこで、私の提案は、商店街東北側3ブロック(35m×175m)をビル化する。地下3階建て(駐車場、地下1階の北側2ブロックを食料品売り場)、地上3階建て(1階-物販・飲食系、2階-サービス・医療系、3階-シネコン・アスレチック・オフィス系)さらにその上に、20階の高層集合住居をブロック毎タワー状に3本建設する。この規模に商店街の全ての店主・店舗・オフィスや住民を入れる。西側は第一期としては、公園化し、時代の流れの中で次の開発を計画する。南側東西4ブロックは更地とし、第二期計画として民間に企画させる。

以上、事業採算・予算計画、民間ディベロッパー、キーテナント、各種法規等煮詰めたものではないが、立地・敷地から妥当な『夢』と考える。

「むかしながら」を武器に戦いを始めるのだ!

久保田 博文

アーケードのある商店街の昼間は暗い。活気がない。人が歩いていない。自転車がかなりのスピードで通り過ぎる。空き店舗が増えてアーケードの維持もきつと大変なんだろうなと思ってしまふ。こんな商店街をどないすんねん。商店街の活性化について「外野」からは何でも言える。でも、本質的には商店の問題であり、商売人が頑張ってる気をださないと何ともならない。いつのまにか戦い方(商い)を忘れ、武器を放棄してしまつた。でも良く見るとまだ戦いを続けている店もある。商店街が生き残っていくためには、頑張っている店をもっと引き立ててアピールしていくことが大切と思う。

たまたまJCD研究会のメンバーと入った炉辺焼「丸八」で食した。「なつかしの昭和30年代の味「まる八のコロッケ」」ええ武器持ってるやん。

今、生き残っている店は、きつと戦う武器をまだ持っていると思う。でも、それを忘れていたり、使い方(アピールの仕方)が解らなかつたりしているだけ。

今里新橋通り商店街には驚くほど昔のままの商店が多い。

- むかしながらの看板。
- むかしながらの商売人。
- むかしながらの商品。
- むかしながらの味。
- むかしながらの……

「むかしながら」を武器に今一度立ち上がろう!

そして、「むかしながら」に磨きをかけて「大阪府の歴史的街並み保存地区?」に指定されるまでがんばろう。

今里新橋通り商店街の未来

前田 泰弘

今回久しぶりに商店街を通つた。思っていたとおりのシャッター街であり、レトロ度も相当なものである。思えば今里からくるイメージは、ロータリー、市電、バスの車庫、トロリーバスと交通に関することばかり。大阪市東部の市内交通の拠点として、「自然発生的に市街地化した中小企業と下町の住宅街の今里」この街を愛する人がどれほどいるだろうかと考えてしまふ。

しかし現在は地下鉄今里駅があり、この駅から市内中心部にも比較的楽に移動できるし、近い将来はその地下鉄も淀川の北部まで延伸する。このような街であるがそれでは今この商店街はなにをするべきか?空き店舗に商店を入れる、金を生み出す仕組みを作る、街を愛する人々を育てる等色々あるが、ここに提案するのは環境モデル地区としての自転車の活用である。この周辺地区は自然発生的に発展した地区が多く、基本的に自動車の受け入れが出来にくい地域である。したがって自転車を街の活性化の切り札にしてがんばろう。

- それには①自転車道の整備(三輪自転車も走れるように)
- ②自転車の交通ルールの確立 ③駐輪場の確保 ④レンタサイクルシステムの整備 ⑤乗り捨てシステムの研究

〇〇年後、おいしいパン屋さんへ、新鮮な果物屋さんへ、自転車でも何処の商店でも気軽に行けるようになりました。それでも大型店に自転車は向かっていませんか?では今まで〇〇年間、自転車をこの地区の交通網の核として街づくりをすすめて来たのに、貴方の店はいったい何をしていたのでしょうか!!

7月11日(月)夕方より、心齋橋のヤマギワショールームをお借りして、第3回目となる、小セミナーを開催した。今回は、ガンバ大阪の事業部・ホームタウン推進課長 伊藤慎次氏に講師をお願いした。

20名弱の参加者を得て、ドリンクを飲みながらなごやかに始まった。



研究委員会主催 第三回 小セミナー
日 時：平成17年7月11日(月) 午後6時30分～
場 所：ヤマギワ大阪・インテリア館2階ライブオフィス
講 師：(株)ガンバ大阪 事業部
ホームタウン推進 課長 伊藤慎次
参加者：20名

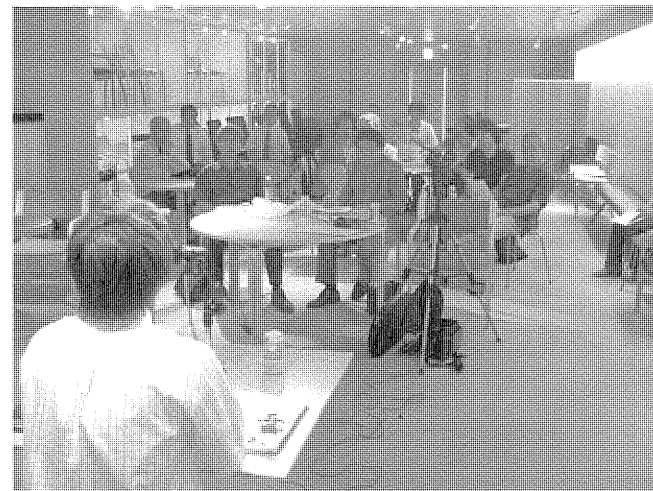
「ガンバ大阪の集客戦略」

サッカー選手であった伊藤氏の中学、高校、大学の華やかな時代の話から始まり、'90年松下電器産業(株)に入社後、広報として社会人リーグからJリーグ立ち上げに関わり今日に至るお話をいただいた。

高校サッカー選手権で5万2千人あった観客数が、大学サッカーで500人、社会人日本リーグでは1千人と寂しいものであった思い出から、1千人を1万人にするにはどうすれば?と考へ、'92年プロリーグ開幕戦は松下グループの協力を得て、高槻のグラウンドに3千人動員した。

その後Jリーグ、ワールドカップ、オリンピックでの日本サッカーのレベル、個人選手のレベルの話に移る。日本のサッカーレベルが上がり、ガンバでは宮本、アラウージョ、大黒といった実力と人気のあるスター選手が登場し、テレビや新聞に取り上げられることが「集客」の大局的な一義であるという。

しかし、ガンバ大阪がホームタウンに弱いことに気づき、2004年に「ホームタウン推進」を組織する。ガンバのホームタウンは吹田市、茨木市、高槻市の3市。下部組織にも力を入れ、小学校で選手とのふれあい活動や人気選手のトークショー、町の商店街にはバナーやフラッグ、のぼりを上げた。市役所に



はマスコット「ガンバボーイ」を設置、さらに選手を連れて地元のケーキ屋やランチに行った。夜の飲食も散髪屋も地元でと、「べた」な地元密着の方法でとにかくファンを増やす、ガンバを浸透させることに現在も奮闘中である。

さらに2004年は、阪神タイガースの試合を観て、ガンバの試合を観る連動チケットを作った。また、バッファローズとのコネクトも検討中等々。

ホームタウンを推進することが、吹田のホーム球場(万博記念競技場)への「集客」の足元固めであるという。そんな成果か、7月27日のセレッソVSガンバ戦は90%すでに完売であると、熱のこもったお話でした。

質問タイムに

Q.「ホームタウンキッズシートはどんなシステム?」

A.「個人、商店、企業が一口2万円以上で協賛、シート代金として運用し、地元中学生を招待するシステム。この他に選手招待で、養護施設の児童50名を招待している——。」

Q.「大黒選手は強運か?生まれ星が良いのか?」

A.「彼は努力家。良い時も悪い時も経験している。ドリブルとシュートに徹した点取り屋で、それを指導者、監督にアピールしてピッチに出ている——。」

等、質問は続くが時間切れ。大いに盛り上がり、拍手で閉会とした。

片付けの後、近くの心齋橋商店街の居酒屋で、伊藤講師を囲んで、二次会となり、サッカー談義に華を咲かせて、散会した。

95th

移転で新しくなった大光電機(株)のショールーム、ライティングコア大阪でJCD会員の藤村正継氏((株)クリエイティブネットワーク代表取締役)を迎えて、第95回コアトークinOSAKAが、『京都人の美意識とデザイン』をテーマに7月22日に開催されました。

ビフォーアフターに出演された時の物件の話から始まり、住宅・店舗・家具など多岐にわたって活躍されているデザインへの姿勢を、具体的な例を挙げながらスポーツマンである氏らしく熱っぽく語っていただきました。

物件ごとにその状況を正確に捉えながら、如何にして豊かで人間らしい生活空間を提案しデザインするか、そしてその中に溶け込みながらも個性を表現する手法は、説得力があり会場を唸らせるものがありました。

またモノづくりに際しては、陶・木工・ガラス・和紙・漆・鍛鉄など、さまざまな作家や職人との交流を交え、切磋琢磨しながらひとつのものを創りあげてゆくことで、互いに専門知識や技術を高めると同時に信頼関係を深め発展してゆくスタイルに、あらためて考えさせられる人も多かったようです。

会場からは、自らがデザインしたものだけでなく、他

の作家やデザイナーの作品を紹介・販売する直営店を出店されるなど、意欲的に活動されている藤村氏の今後に期待を寄せる方々の声も聞こえていました。

“美意識”という切り口でお話いただいた今回のコアトークは、藤村氏の交友関係の広さ、仕事への取り組みの興味深さに加えて、久々のコアトークという事もあり、120名を越える来場者で熱気あふれる会場は賑わいを見せ、講演終了後のドリンクパーティーも大いに盛り上がりました。



第96回コアトークinOSAKAは、暑さ厳しい8月26日に、世界的楽器メーカーの「YAMAHA」でデザインに携われ、その後インダストリアルデザインを中心に海外でも活躍されているフリーランスデザイナーの道田健氏をお招きして開催されました。

YAMAHA時代には、ゴルフクラブのデザインなどもされていたそうですが、当日は主に担当されていた“楽器—ピアノ(鍵盤)、弦楽器”について、ご自身が関わられたデザインを中心に、その歴史や特性をオリジナルの年表や図を交えて『先入観とデザイン』のテーマで、わかりやすくお話していただきました。

素材・製法・仕上げなどに関して、細部にわたり伝統ある背景の流れと、普段なかなか知り得ない部分を歴史的エピソードを添えて説明していただきました。

ヒット商品になった“Silent”シリーズ開発の過程や、日本を代表するギタリストである寺内タケシさんのオリジナルギター制作の話、またプロの演奏者との打ち合わせの事など、それぞれ興味をそられる内容に会場は聴き入っていました。

後半では、大学院卒業時から個人的に参加されている“カタチ研”で創作された家具や照明器具、また様々な展覧会に出展されている活動を紹介され、楽しみながらデザイン活動を続けられている姿が羨ましく感じられました。

道田氏には、楽器という、いつもの商空間中心でない話題を提供していただき、新鮮さを覚えると共に、充実した時間と知識をいただいた事に感謝しております。

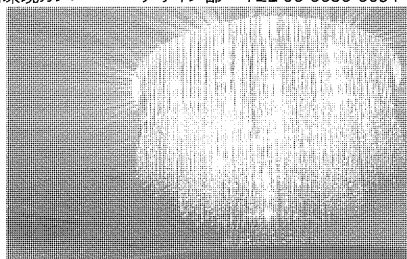
ビジョン委員会 末浪伸浩

青野 恵太

(株)乃村工芸社 商環境カンパニー デザイン部 TEL 06-6686-6094 FAX 06-6686-6311



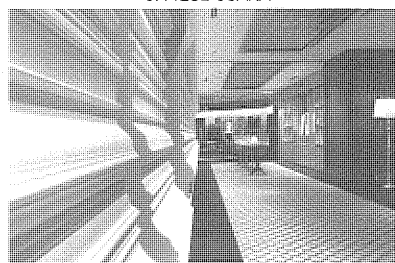
OPAQUE OSAKA



SIENNE APIUM OSAKA

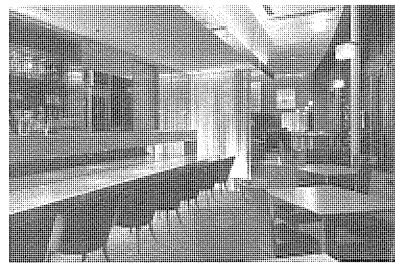
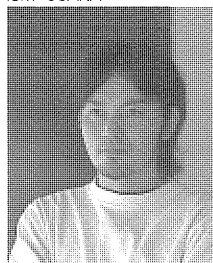


TO THE HERBS SHIODOME

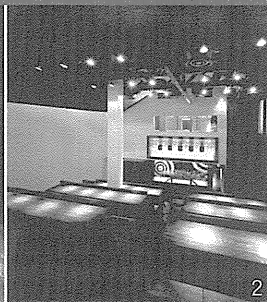
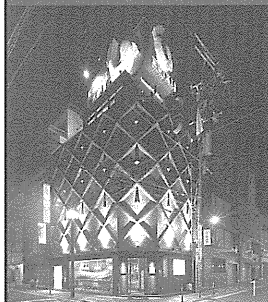


みなさまと
お話し
多くのことを
学びたいと
思っ
てお
ります。

未熟者ですが、
どうぞ
宜しく
お願い致します。



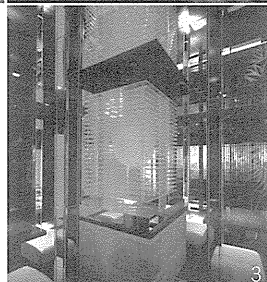
今福 彰俊



2

WORKS

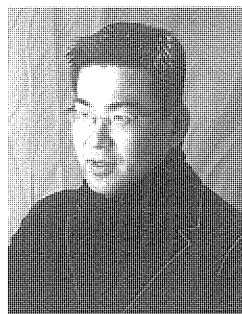
1. 小 粋
大阪 心斎橋
2. 学 舎
大阪 東住吉区
3. ハレトケ
京都 京田辺



3

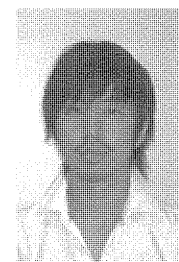
存在理由の探究

僕はまだ自分の存在理由を探究しています。これは僕の将来をかけての探究になると思っています。知り合う人々やお店も同様に、常に自己の存在理由の探究を通して、社会に貢献していこうと努力しているように思います。存在理由。それは自分に対して、そしてクライアント、そのプロジェクトに携わった全ての人々になくしては存在できないものです。僕は、自己と他者の存在理由をこれからもデザインを通して探究していこうと思います。



1968年生まれ
スーパーマニアックB&S(有)
代表取締役
商環境プロデューサー
空間デザイナー

梶原 久史



■HAUSEN
梶原 久史

1979年 大阪生まれ
2002年 大阪デザイナー専門学校
インテリアデザイン科卒
2003年 デザインユニット
■HAUSENに参入。

インテリアデザイン、コーディネーターを中心に、ショップロゴ・ポスター・フライヤー等の企画、デザインなども行っています。また、ショップ ■HAUSENでの販売・営業業務も併用でおこなっておりますのでお近くに來られる際には是非お立ち寄りください。「遊び心」と「工夫」をテーマにギミック要素を取り入れた数々の作品をご紹介します。

■HAUSEN
〒550-0013
大阪市西区新町1-3-12
四ツ橋セントラルビル1F
TEL : 06-6533-9701
FAX : 06-6533-9702
E-mail :
hausen@kawarano.co.jp

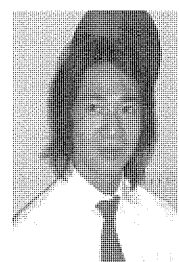


KEMURI (ジッポライターケース)

三越広島店 プラス展開

COASTER 6set

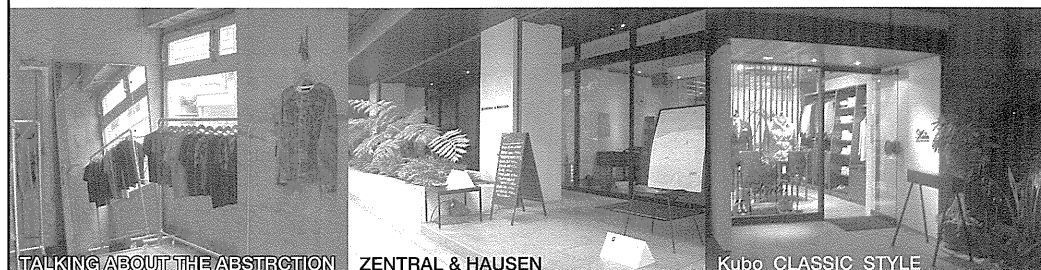
瓦野 光貴



■HAUSEN 代表
瓦野 光貴

1974年 大阪生まれ
2001年 デザインユニット
■HAUSENを設立。
2003年 コンセプトショップ ■HAUSENと
併設におばんざいサロン
ZENTRALを展開。

最も人の心を掴み、自然の温かさや匂いを放つ素材(木)であるころは、承知の通りです。その反面、最もわがままな素材とも言えます。私は今(木の対峙)こそ空間における困難なテーマと考えています。我々は設立50年を超える木材店である(株)瓦野の新規事業として、2001年プロダクト集団 HAUSENを設立しました。天然素材(木)と向合う事に挑戦し、また創設のような空間を心掛けるべくミニマムに、そして遊びのある空間を提案しています。



TALKING ABOUT THE ABSTRACTION

ZENTRAL & HAUSEN

Kubo CLASSIC STYLE

■HAUSEN
〒550-0013
大阪市西区新町1-3-12
四ツ橋セントラルビル1F
TEL : 06-6533-9701
FAX : 06-6533-9702
E-mail :
hausen@kawarano.co.jp

小西 宏親

大学を卒業して、自営業を継ぐ為にデザインの専門学校へ入学。後に建設会社へ就職して4年後に小西家具へ入社しました。入社して約8年、造作家具の設計・施工、店舗設計、住宅のリフォーム等に従事しております。経験と実績は浅いですが、この仕事は人と人とのふれあいのなかでお客様に喜んで頂いた時の満足感が最高です。今後は皆様のご協力、ご指導のもとで自分自身と技量を磨いていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



小西 宏親
関西外国語大学
英米語学科卒

主な作品

- ・心斎橋そごう 一宝天寅
- ・奈良市 花 惣
- ・吹田市 Jフォン(現ボーダフォン)吹田店 etc.

小西家具 京都府京田辺市 TEL(0774)63-0748 FAX(0774)62-9395

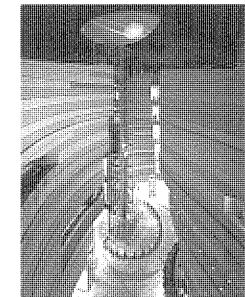
日又 忠文

耳順を迎え特別賛助会員(照明メーカー)からJCD個人会員に入会いたしました。私が社会人になり照明の仕事に携わること37年になります。この間、技術開発、商品開発の「物作り」に始まり、後半20年間はオフィス店舗等の照明計画(ソフト開発)に従事しました。

ハード面では蛍光灯のコンパクト化、高演色化、色温度の多様化が進み、次にHID光源にも浸透していききました。ソフト面ではVMDライティング理論が店舗照明ソフトの原点となり、新しい空間を創造してきました。各照明メーカーから多くの新商品が発売されています。商環境の明かりの創造は当然ですが、より環境に優しいハードの採用も今後ますます必要となります。照明の業界情報や市場トレンド情報の受発信基地として第二の人生をデザイナーのみなさんに少しでもお役に立てればと思っております。これからもよろしくお願い致します。



新関電ビル



難波パークス

LL TAKARAZUKA 日又忠文 〒665-0847 宝塚すみれガ丘2-3-1-704 E-Mail ht420@gaia.eonet.ne.jp



酒と肴 そして...

酒は、私の人生にとって深い係わり合いをもつもののひとつです。永い間酒を嗜んできたのは、おいしいものをちよつとつまむのが好きなので 酒はかかせないものだったが、やはりそれらを含めて「いい時を過ごす」その至福の時がたまらないからに違いない。きつと悲しみや怒りの酒もあったかもしれないが 思い出すほどに強くないのは幸運だったのかも…。そんな幸せな人生の一部をほろ酔い気分でもふりかえってみよう。

◆マリアンヌと白ワイン

1970年頃だからもう35年も前、パリに初めて行きだしてから2、3年後、マリアンヌと知り合った。12月か1月かどうか忘れたが、彼女につれられていったレストランで飲んだ白ワインは忘れられない。寒い季節になり、パリのレストランの店先に牡蠣が並ぶ頃になるとあのシャム猫のような顔立ちとキュートなブルーの瞳を白ワインのグラスの向こうにおもいだす。そう、寒い冬の朝のオニオンスープやレアールが市場だった頃 Pied de cochonで飲んだ赤ワインや、マドレーヌ寺院のFauchonの横の露地にあったチーズの店や、一年中生牡蠣が食べられるlebar a huitres。いつも立ち寄ったサンジェルマン市場の横のCafé、サンルイ島にあるBerthillonのアイスクリームや久々に晴れたパリの陽の下でゆるめる柔らかい茶色の髪の毛などと…。白ワインは後日生牡蠣にぴったりのCHABLISと知るが、その後Premier, grand cru classeのものを飲んでも思い出の一品にはかてない。シャブリの地層が数万年前の底にあり、牡蠣の化石が詰まった石灰層の地層で栽培されていることなどワインの知識も少しずつ増えてゆき、やがてCHATEAU MARGAUXやMouton Rothschildなどの赤ワインのヴィンテージワインを飲む機会に恵まれるが、そんな高級なワインと一緒に楽しめた日々は、間違いなく私を豊かにしてくれた。

◆サンドロ ニグリとグラッパとの出会い

それから数年後だとおもうが、バッグのデザインでミラノに通っていた頃、あのかわいいネズミのキャラクターで世界中の人を虜にしたトッポジョー>をデザインしたサンドロニグリと出会うことになる。彼も同じ工場で作っていたのだが、ポーロニヤの自宅に招待された時に、イタリアの焼酎ともいいグラッパの洗礼を受ける。私を歓迎する意味か、食事の間に奥さんが3度もお色直しし、よろしく服を着替えてお披露目するのを、皆で喝采したのとテラスで炭焼きをして食べたのは覚えているが、グラッパの強烈なアルコールは初めて味わう旅人を酔わすのには十分で、何を食べたのかまったく記憶にない。しこたま酔ってミラノまで送ってもらった車の夜風が気持ちよかったのは覚えている。

◆イタリア料理とワインとジョバンニエラ

同じ頃、照明器具のデザインの関係で、ミラノがよいが続くことになる。お澄ましのフランス料理は、実はイタリア料理で、メディチ家の皇女がフランスに嫁ぐ時、料理人を連れて行ったのがルーツだというのはご存知だとおもうが、私は魚介類が好きなのとオリーブオイルの関係か、イタリア料理の方がどちらかというと好きで体になじむ。ドウモの南のla tampaかscalaの近くの小さなレストランか忘れたが、ジョバンニエラと飲んだBaloroの白ワインはミラノのデザイナー仲間達といった3ツ星のマラケージで飲んだワインより記憶に深い。Antipastoとスキャンピの塩焼きだけでお腹がいっぱいだったのを覚えている。彼女はとても美人だったのは覚えているが、思い出すのは長いまつげやさきれいな指先や柔らかい……。でもはっきりと顔を思い出せないのはなぜだろう。ベネツィア、ペローナ、ローマ、フィレンツェ、シエーナ、ボッルーア……。イタリア各地の料理とワインを楽しむことになるが、若き日に観たイタリア映画の名場面と現実の体験が、酔いのまわった頭の中でくると回る。途中からフランス映画も思い出し、またLOVEするなら、イタリア娘かフランス娘かと思案していると、あのフランソワ・アルヌールやパスカル・プティに似たキュートな肢体のマリアンヌが現れる。ジョバンニエラごめん。君はあまりに美人すぎた。ダイナミックな感動を与えるアメリカ映画も悪くはないがフランス映画やイタリア映画も人間くさくてとても心地よい。きつといい思い出が後押しをしているに違いないと、酔いは心地よく深まってゆく。

◆カルフォルニアワインとサマンサ

1970年の後半頃からアメリカに行く機会が増え、好きな街サンフランシスコに立寄ることになる。ユニオンStのshopで知り合ったサマンサはとてもシャイな娘だったがなぜか気があった。Pier39近くのシーフードレストランで蟹と一緒に楽しんだNapaの白ワインが抜群で、次の年に随分探してみたが見つからなかった。当時はフランスワインに比べて評価が低かったが、この5年ほど前オークションで1991年のカルフォルニアの赤ワインが50万ドルで落札されるまでになり、正にあのロマネコンチも真っ青である。その他ドイツのモーゼルやラインネッセンやギリシャワイン、スペインやポルトガルの赤ワインや…。旨い生ハムと…。彼女達とのLOVELYな時間と……。酔いは一段と深まり…。思い出がひとつずつ近くなり…。それから…。それから……

◆シャンパンと由美

りえがニューヨークへ飛び立つてから10日ほどたった頃、突然青い鳥が飛び込んできた。僕の誕生日は朝からシャンパンだ。日本でも手に入るお好みの辛口のシャンパン Veuve Clicqueotと……。いつもは紅をひかない素顔の彼女が今日は薄いピンクの口紅。「ちょっと濃かった?」そんな控えめの彼女が好きで食事の味覚もぴったり合う。きつと彼女と飲むワインのラベルが一番増えるに違いない。そう、今の私にとって旨い酒と肴は酒の銘柄やつまみとの相性ではなく、一緒に楽しむ女性だ。他の種類のお酒もたくさん楽しみ、本当は日本食が一番好きなのにワインのことを一番に思い出すのは我が故郷、山梨で葡萄をたくさん食べて育ったのと、私にささげてくれた彼女達の深いLOVEだ。彼女達の幸せを祈りつつ今日はもう一杯……

2005年の夏

JCD関西支部活動報告

2005年度支部総会

交流委員会 市川 邦治



ガスビル&ガスビル食堂



ガスビル食堂HPより

安井武雄氏の設計による、巨大な客船を思わせる白亜の大坂瓦斯ビルディング通称「ガスビル」が大正15年(1926)から工事が始まり、昭和8年(1933)御堂筋のほぼ中央に誕生しました。当時大阪における最も近代的で美しいビルディングと称されました。ビル内にはガス器具陳列場をはじめ、講演場、美容室、喫茶室、料理講習室、食堂など、一般の方に広く利用いただける様々な施設がありました。竣工時から開業しているガスビル食堂は開業当時、その本格的な欧風料理とともに、8階の東南に開かれたガラス窓の展望が人気でした。開業当時の料理長は帝国ホテルから来られ、現在も運営は帝国ホテルが担当。

新規賛助会員紹介

四国化成工業株式会社

本格的な築壁「ジュラックス」の発売開始から35年。シコクは常に、塗り壁メーカーのトップブランドとして、時代に適合した様々な塗り壁を発売してまいりました。「備長炭」の持つ吸着性や調湿効果といった高機能をいかし、独自の技術で美しい風合いを実現した、当社オリジナルの炭壁「さやか」シリーズ。「けいそう土」を配合して、快適な空間を提供する「けいそう壁」シリーズは、様々な表情を演出することを可能にした、豊富な品揃えです。

シコクでは、安全、快適に使用できる高品質の素材を基盤に、個性的なデザインを創造できる商品を多数取り揃えております。



四国化成工業株式会社
大阪支社 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町22-6
TEL.06-6339-4976

担当/大阪支社 市場開発室 東條 渉

JCD関西恒例ビアパーティ

交流委員会 大森 貴夫



日時 2005.9.5 (月)
18:00~20:00
会場 ライブ&レストラン
「ボニーラ大阪」
参加者 会員 19名
ゲスト 2名
賛助会員 9社 24名
合計 45名



今年中央区備後町にあります「Bonilla Osaka」を借り切った開催となりました。
17:30 受付開始。当日は、台風14号が接近中でしたが予定通り18:00に白井支部長の「開会挨拶、乾杯の音頭」でスタートしました。もちろん「飲み放題・食べ放題・踊り放題」
18:20 50年代~80年代のアメリカンポップス・ビートルズナンバー・和製ポップスを得意とするハウスバンド、CRAZY CASH (クレイジー キャッシュ) の生演奏がはじまり、参加者思い出の曲・なつかしの歌のリクエストも交えてあっという間に楽しい時間が過ぎ去り、20:00金沢副支部長の挨拶でお開きとなりました。



新緑のるるぶ会 室生寺・赤目探訪スケッチの旅

金沢 明彦



6月25日26日に長谷寺、室生寺、赤目の滝、伊賀上野を探訪しました。両日は梅雨にもかかわらず、天候にも恵まれ15名の参加がありました。
長谷寺は、西国巡礼33ヶ所のひとつで、山の上にあり、本堂からの眺めは、一服の絵のようです。各自、様々な所に陣取り、スケッチを一枚仕上げました。昼に予約してあった室生寺の前の料亭で昼食を取り、その後、室生寺に向かいました。久保田さんが枚方から自転車で、室生寺に駆けつけてくれ、その驚異的なスタミナに、皆驚嘆していました。
復興となった五重の塔を全員でスケッチにおさめ、夕刻、日帰り組と別れ、赤目の滝の温泉旅館に向かいました。温泉につかり、宴会の後、旅館のマイクロバスで螢を見に行きました。皆、少年時代にトリップして感嘆の声をあげていました。
翌日は赤目の滝に向かいますが、四十八も滝があるので、溪流の半分くらいの茶店の所で、スケッチブックを開き、新緑の中に流れる千手の滝を描きました。その後、伊賀上野に向かい帰路につきました。



Lighting & Effect System
演出照明
nissno N7

小さなスペースでもパワーを発揮する、コンパクト設計の本格派。
組み合わせは自由自在。ご予算レイアウトに合わせてシステムアップも思いのまま。
操作はやさしく、施工も簡単。プロ並の照明が手軽に実現できます。

株式会社 日照
〒566-0035 大阪府摂津市鶴野3丁目8番7号
TEL 072-634-1231(代) FAX 072-634-1239
E-mail:info@nissho-osk.co.jp http://www.nissho-osk.co.jp

Needs & News

AIDEC MODERN

株式会社 アイデック
〒550-0013 大阪市西区新町1-10-2
大阪産業ビル/大阪ショールーム
tel 06-6534-0258
fax 06-6532-4876
URL: http://www.aidec.jp

WOODLINE

木目調・石目調ホモニアスビニル床タイル
ウッドライン5000
ウッドライン3000
マティル5000
マティル3000

2004年新色発売
圧倒的な色数を誇るベストセラー。
ハイグレードな商空間を演出いたします。

心地よさ 知的
ナチュラル モダン
スロー&クール

株式会社 タジマ
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL06-6441-5951 FAX06-6444-2596
http://www.tajima-inc.co.jp

やすらぎを演出する色彩と深みのあるテクスチャー。
ナチュラルからモダンなテイストまで。

グラフィックタイルカーペット
GXシリーズ
高いデザイン性と、豊富なバリエーション。商空間へ彩りを添えます。
バリエーションは、12種類。
その他に空間構成にかかせない無地タイプ26色のカラーパレットGX200もあります。

TOLI 東リ株式会社
(URL) http://www.toli.co.jp

編集後記

- 今回機関誌第1号から57号まで、諸先輩が活躍された足跡を調べる機会を得ることができました。過去を見ることで今を評価し、どんな記事内容が望まれているのか、伝える方法や速報性についても検討すべきか(三宅)
- 「しばらく続いた表紙デザインの担当を終え、今号からは三宅会員へバトンタッチ。編集委員会後のちょっと一杯寄り道も、心なごむひとときでした。」(友田)
- 少しづつ少しづつ変わっていています。今後も更なる変化を目指します。(三嶽)
- 特別連載企画「これで商店街は蘇るか?」では研究委員会の方々には提言をいただきありがとうございました。(岡島)
- 今号初めて広報委員会に参加し、今回はほとんど何の役にもたっておりません。これから頑張ります!(長町)
- 三嶽委員長のもと、編集スタッフの皆さんのご苦勞はずうっと以前委員長をしていたのでよくわかります。支部機関誌でこれだけのものが発刊できるのはすばらしいことです。応援したいとおもいます。(里吉)
- 思うようなサポートが充分できずすみません!! (白井)
- JCD関西支部と会員を繋ぐ...をモットーに文字と写真のコラボレーション、新しいメンバーの方々の努力に感謝いたします。(郷力)

Needs & News



●いいインテリアのある場所には、いい生活がある。
 壁紙・カーテン・床材・イス生地・・・
 サンゲツなら、たくさんの商品の中からお気に入りのインテリアがトータルに揃います。
 さあ、あなたも素敵なお部屋づくりはじめてみませんか。

株式会社サンゲツ ホームページ <http://www.sangetsu.co.jp>

●本社/名古屋店 TEL.052-564-3111 ●東京ショールーム TEL.03-3505-3300
 ●名古屋ショールーム TEL.052-564-3225 ●大阪ショールーム TEL.06-6440-5011

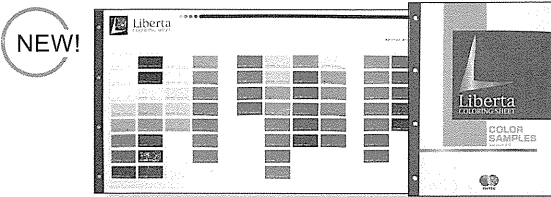
商業空間の演出に、ブランドイメージの定着に……ニチエのマーキングフィルム

高品質・低価格を実現!



屋外5年耐候 (大幅増色 [全78色])

新色登場!豊富なカラーバリエーションでデザインに差をつける!
 ご要望の多いパステル調の新色をはじめ使いやすい人気色
 新たにラインナップ。デザインの幅が広がります。



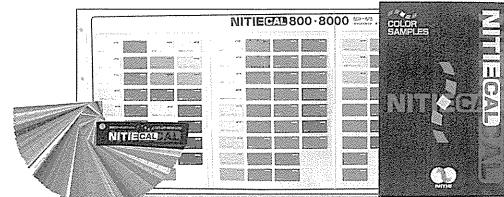
高品位マーキングフィルム。



充実のラインナップでニーズに応える高品位マーキングフィルム。

No.800・8000シリーズ 屋外5年耐候一般色
 ・全136色

No.6600・6700シリーズ 屋外5年耐候電飾用
 ・NC6600 半透明 38色
 ・NC6700 透明 29色

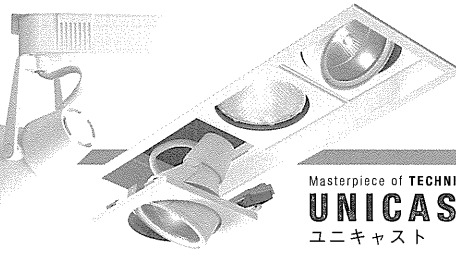
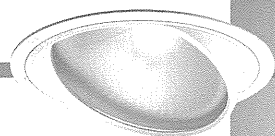


■製品に関するお問い合わせ、カタログ請求等は下記の弊社営業部まで、お気軽にお問い合わせください。

ニチエ株式会社 大阪本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高1-6-28 TEL06-6399-6601 FAX06-6399-7501
 東京営業所 〒162-0044 東京都新宿区喜久井町19 TEL03-3202-5481 FAX03-3203-6735

<http://www.nitie.co.jp>

Masterpiece of TECHNICAL LIGHTING
FIXEL
 フィクセル



Masterpiece of TECHNICAL LIGHTING
UNICAST
 ユニキャスト

TECHNICAL LIGHT

マックスレイ総合カタログ
 新製品を含むすべてのラインナップ
 を収録しています。



店舗照明の専門メーカー
マックスレイ株式会社

大阪市城東区鳴野西2-18-6 〒536-0014
 TEL.06-6967-0140 FAX.06-6962-5988
 ホームページ <http://www.maxray.co.jp>

東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824



株式会社キノシタ
<http://www.kk-kinoshita.co.jp/>

●本社・ショールーム
 〒599-0005 大阪府東淀川区日守町4丁目2-82
 Tel.06(8244)5541(FX) Fax.06(8244)5544-5563

●東京支店
 〒114-0016 東京都荒川区西日暮里1丁目1番1号202号2F/1号
 Tel.03(5689)9401(FX) Fax.03(5689)6458

●名古屋支店
 〒466-0005 名古屋市中区東区豊田2丁目20-54
 Tel.052(664)6660(FX) Fax.052(664)6652

●福岡支店
 〒813-0043 福岡市東区博多駅前6丁目16-45
 Tel.092(285)0311(FX) Fax.092(285)0450

Needs & News



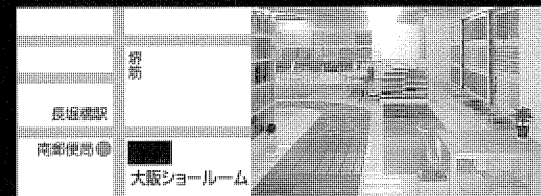
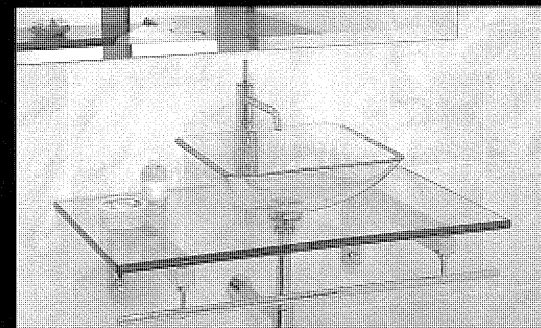
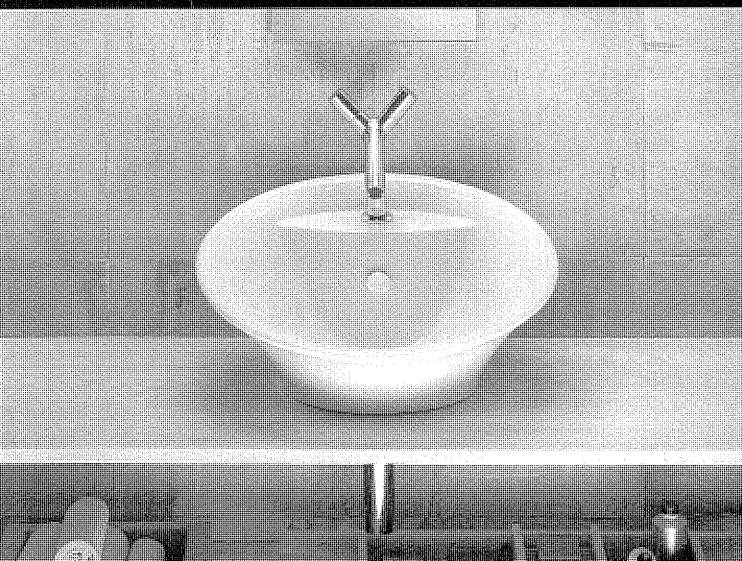
小泉産業株式会社 照明分社

大阪府中央区備後町3丁目3-7 〒541-0051
 東京支社 東京都千代田区神田佐久間町3-12 〒101-0025

●製品仕様・取付などに関するお問い合わせ窓口 ●修理・アフターサービスのお問い合わせ窓口
 お客様相談室 TEL.0729-86-6081 サービスセンター (ナビダイヤル)0670-015123

<http://www.koizumi.co.jp/>

アドヴァンのショールームは、選りすぐった「良いものを世界から」集め、
 ハイセンスな商品約5,000点を常時展示しています。
 プロの設計士はもちろん、インテリアコーディネーターや一般の人まで、
 あらゆる分野の方からご利用いただいています。
 ぜひ一度ご来店の上、実物に触れてみてください。



大阪ショールーム
 〒542-0082 大阪府中央区島之内1-21-22 共通ビル
 TEL.06(6245)0975(代) FAX.06(6245)0976

<http://www.advan.co.jp/>
ADVAN 株式会社 アドヴァン

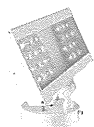
National

音や映像とダイナミックに連動。
LEDフルカラー・イルミネーション。

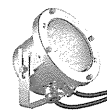


なんばパークス 商業棟 パークスムーン(大阪市浪速区)
屋外庭園と大規模商業ビルが融合した「ミナミ」の新名所。RGBの制御だけでなく音楽と連動したLEDフルカラー演出をトータルプロデュース。ランドマークにふさわしい「夜景」を生み出しています。
事業主:南海電気鉄道株式会社・株式会社高島屋
設計:(株)大林組本店一級建築士事務所/施工:大林組JV

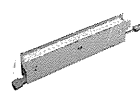
光の3原色—RGBを自在に制御し、フルカラーで演出。近景から遠景まで、色鮮やかなLED照明をトータルにご提案します。RGBすべての光色の組み合わせで、1670万フルカラーの色彩表現が可能。豊富な器具ラインアップに加え、規模や内容にあわせた照明演出のための制御機器もご用意。長寿命・省エネの次世代照明LEDが、多彩な照明演出をトータルに支援します。



角型投光タイプ



水中タイプ



ラインタイプ



スクエアタイプ

カラー演出用LED照明システム
〈アールジービープロ〉 **RGB PRO.**

*エバーレッズが受賞しました



EVERLEDS LED演出照明をトータルサポートする松下電工のLED照明器具エバーレッズ

専用カタログをご用意しています。ご請求は、〒571-8686 松下電工(株)照明事業分社 マーケティング・デザイン総合部(住所記載不要) TEL.06-6908-1131(大代表)。インターネットでより詳しい情報がご覧いただけます。 <http://www.mew.co.jp/Ebox/everleds>

National 松下電工、NAIS 松下電工 は National ブランドに統一します。

松下電工